

中小企業 あきた

秋田県中小企業団体中央会

<http://www.chuokai-akita.or.jp/>

年頭所感 2

新春特別企画 6

TOPICS ① 8

県に5分野12項目を要望
～佐竹知事との懇談会～

●組合・企業探訪 9

●景況レポート11月分 16

●話題の広場
中央会事業より 18
新設組合紹介 18
インフォメーション 18

AKITAVISION
秋田県

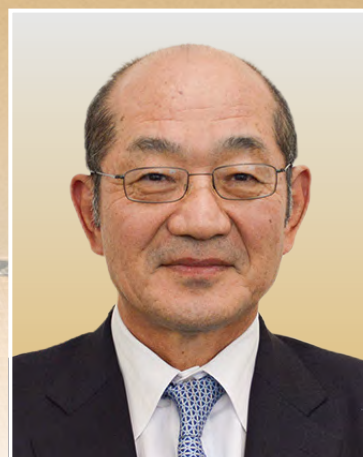
2022
vol.740
1月号



年頭所感

秋田県中小企業団体中央会

会長 藤澤正義



新年明けましておめでとうございます。令和4年の年頭にあたり、皆様に謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、長引く新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策のため、人の移動や経済活動が制限され、県内でも外食、小売、観光など人との接触機会を伴う業界を中心に、多くの中小企業が深刻な影響を受け、社会全体に閉塞感が漂う1年となりました。

一方で、1年延期となっていた東京オリンピック・パラリンピックが7月に開催され、トップアスリートの躍動と日本人選手の活躍が、多くの国民に感動と希望を与えるなど明るい話題となりました。

その後、猛威を振るった新型コロナウイルスは、ワクチン接種の進展等とともに、昨年夏をピークに収束の兆しを見せ始めているものの、新種株の出現や燃料等原材料の高騰、半導体等の資材不足などが中小企業の経済活動における新たな足かせになるなど、いまだ収益確保、雇用維持等の経営課題に対する解決の糸口が見出せない状況が続いております。

本会では、「強い組合・強い企業づくり」を活動スローガンに掲げ、県内中小企業の連携支援を柱に支援活動をしております。その中で、今年度、コロナ禍で売上が減少している組合や企業等の販売促進と情報発信力強化を目的に、秋田市「エリアなかいち」での物販イベント「くみあいピック」の開催、ホームページの新設、リニューアル支援を実施するなど、事業者ニーズに沿った効果的かつ時機を得た支援を心掛けて来ましたが、これからも組合・企業訪問等を通じて事業者が抱える課題・要望を的確に吸い上げ、企業経営に有益な情報と支援をタイムリーに提供していくことで、本会の支援機関としての役割を果たして参ります。

また、世界的なコロナ禍を経て、「センシング」、「ロボット」、「自動運転」、「オンライン」といった非接触型のデジタル技術が飛躍的に進化し、社会や産業の形態が大きく変わろうとしている中、中小企業にもデジタル時代にふさわしいビジネスや業務の変革が求められておりますが、そのような中小企業の取り組みにも本会が十分にサポート出来るよう、人材の育成に取り組んで参ります。

今年の干支は壬寅ですが、「陽気をはらみ、春の胎動を助く」を意味し、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になると言われています。県内の中小企業にとりましても、コロナ禍を乗り越え、一刻も早く安定した事業環境を取り戻し、新たな飛躍に繋がる年にしたいと願っております。

最後になりますが、皆様のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



年頭所感

秋田県知事

佐竹敬久



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の世界的規模での流行が続く中、国内にも感染拡大の波が押し寄せました。秋以降、日常の生活風景が戻りつつありますが、県内でも多くの業種で影響を受けていることから、県内経済の下支えとともに活性化を図っているところであります。

秋田県中小企業団体中央会におかれましては、新型コロナワクチンの職域接種に特段のご配慮をいただき、地元市町村の負担軽減はもとより接種率の向上、ひいては社会経済活動の回復に大きく寄与されたところであり、深く感謝申し上げます。

さて、近年における県内人口の社会減少数は、2年続けて3千人を割り込むなど、人口減少の抑制に向けた兆しも見え始めているほか、産業・雇用関連では、能代市への大手製材会社、大館市への大手素材メーカーの進出が決定したほか、秋田港及び能代港における洋上風力発電の建設が進み、年内の運転開始が予定されているなど、本県の強みを生かした動きが活発になってきております。

こうした中、コロナ禍における社会経済情勢や価値観の急激な変化に加え、デジタル化の進展や、EV化などの脱炭素社会の実現に向けた取組の加速といった時代の潮流を捉え、本県の優位性を発揮した施策の推進などを基本的な視点に据えながら、果敢にチャレンジしていくという気概を持ち、ふるさと秋田の将来を見据えた取組を進めていくことが肝要であります。

このため、4月からスタートする新秋田元気創造プランにおいては、時代の大変革期を見据えつつ、県政の最重要課題である人口減少問題の克服を目指して、「賃金水準の向上」「カーボンニュートラルへの挑戦」「デジタル化の推進」の三つを、分野を超えた横断的な「選択・集中プロジェクト」として重点化しながら取組を進めるとともに、産業・雇用、農林水産業、観光・交流、未来創造・地域社会、健康・医療・福祉、教育・人づくりに関する六つの戦略や、防災・減災、交通基盤の整備、生活環境の整備等を進めてまいります。

貴中央会におかれましては、県内の中小企業の良きパートナーとして、また、地域経済活性化のけん引役として一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとって希望に満ちた飛躍の年となりますようご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

年頭に当たって

全国中小企業団体中央会

会長 森 洋



明けましておめでとうございます。令和4年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年6月に会長として再任頂き、11月には本会創立65周年記念式典を開催することができました。これもひとえに会員皆様方の日頃のご支援やご協力のお陰であると深く感謝申し上げます。

昨年は、長引く新型コロナウイルス感染症の感染拡大による行動制限等の影響を強く受けて実に苦しい1年でした。世界的な半導体不足や原油、金属、食料原材料等の価格高騰、豪雨・台風等の自然災害の発生、深刻化するデジタル人材不足、事業承継問題等により、中小・小規模事業者を取り巻く経営環境は、対面サービス業を中心に深刻な影響を被りました。ワクチン接種の進展等により感染者数は減少したものの、依然予断を許さない状況が続いています。岸田新政権が昨年11月に閣議決定した「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」の実効に期待を寄せているところです。

このような状況の中、中小・小規模事業者にとって喫緊の課題である生産性向上や経営強靱化は急務であり、そのためには、個社ごとの経営努力に加え、中小企業組合をはじめとした共同化、協業化、企業間連携を通じた戦略的な取組みが重要になります。

昨年11月25日に神奈川県のパシフィコ横浜国立大ホールにて開催した第73回中小企業団体全国大会では、萩生田経済産業大臣等多数のご来賓をお迎えし、全国各地から中小企業団体の関係者約1,700名が参集し、

- I. 中小企業・小規模事業者等の生産性向上・経営強靱化支援等の拡充
- II. 中小企業・小規模事業者の実態を踏まえた労働・雇用・社会保険料対策の推進
- III. 中小企業・小規模事業者の積極的な事業活動を支える環境整備

の実現に向けて、共に取り組むことを決議しました。

大会後の「感謝の夕べ」にご臨席賜りました岸田内閣総理大臣からは、ものづくり補助金の中央会の事務局としての活動と生産性向上の具体的な事例に言及され、謝意を頂き、中小・小規模事業者の発展を支援する中央会への期待が表明されました。この岸田内閣総理大臣の中小・小規模事業者への期待や支援に応えるためにも、組合組織が持っている企業同士の「連携力」を大いに発揮し、中小・小規模事業者が誰一人取り残されることのないよう全力で取り組んで参ります。

とりわけ、ポストコロナを見据えた新型コロナウイルス感染拡大防止と経済活動の両立、デジタル化・グリーン化への起動、事業再構築・生産性向上、災害対策、事業承継、事業再生などの最重要課題については、会員の皆様との連携を一層強化し、対応してまいります。

結びに、本年が中小企業組合と中小・小規模事業者の皆様にとりまして、一刻も早く安心して事業活動を行う環境が整いますとともにコロナ禍から立ち直り、新たな飛躍への足がかりとなる1年となりますことを心よりご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和4年元旦



年頭所感

株式会社商工組合中央金庫

秋田支店長 清水 剛



明けましておめでとうございます。令和4年の新春を迎えるにあたり、秋田県中小企業団体中央会並びに会員組合、組合員企業の皆さまに、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、全国各地で緊急事態宣言などが断続的に発令される中、飲食や宿泊関連などの対面型サービス業を中心に深刻な影響を受けました。さらに、中小企業の過剰債務解消に加え、政府が進めるカーボンニュートラルへの対応、自然災害に備えた事業継続計画の策定など、中小企業の経営課題は、従前にも増して多様化しています。

このような中、私ども商工中金は、危機対応業務の指定金融機関として、制度を的確に運用しつつ、影響を受けられた中小企業の皆さまの個別の実情に応じた懇切・丁寧な対応を行うとともに、資本性劣後ローンを活用した財務基盤の構築にも取り組んでまいりました。

低炭素経済への移行や社会のデジタル化等の大きな変革も見据えて、引き続き真にお客さま本位かつ長期的な視点で、中小企業及び中小企業組合の企業価値向上に貢献してまいります。

具体的には、産業構造や社会の大きな変革を見据えた事業再構築や新事業への進出、業務のデジタル化、経営改善、事業再生などに取り組む中小企業の皆さまに対する支援を重点的に行ってまいります。日ごろからのリレーションを一層強化し、地域金融機関や外部専門機関との連携・協業を密に行いながら、お客さまの経営課題に対応してまいります。

また、こうしたビジネスモデルを支える屋台骨として、引き続きコンプライアンスの徹底や内部管理態勢の強化に取り組むとともに、職員の能力を最大限に発揮するため、ダイバーシティの推進やインクルージョンを徹底してまいります。

商工中金秋田支店は、本年も中央会の皆さまとの連携・協力関係を一層強化し、当金庫の使命である中小企業と中小企業組合の持続的成長とそれを通じた地域経済の活性化に貢献してまいります。「中小企業による、中小企業のための金融機関」として、皆さまから信頼され、支持され、これまで以上にお役に立てるよう、支店職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶とさせていただきます。

- ① 組合の紹介・PRなど
- ② 今年の目標や抱負

新春特別企画

寅年に設立された組合に伺いました ～令和4年の目標や抱負～

秋田県漆器 工業協同組合 設立から72年



佐藤公理事長

層をターゲットとして輸出拡大できるよう、商談会やモニタリングを実施しております。

①秋田県漆器工業協同組合は昭和25(1950)年に設立され、組合が中心となって原材料の安定確保や宣伝活動、後継者の育成等に取り組むことで、産地の振興・発展に尽くしてきました。令和3年3月末現在、組合員は80名、うち14名が伝統工芸士です。

川連漆器は、約800年の歴史を持ち、食器を中心とした実用的な需要に支えられてきました。昭和51(1976)年に国の伝統的工芸品に指定、平成20(2008)年には地域団体商標に登録となりましたが、国内でもまだまだ知らない人が多いため、知名度向上が業界の課題であり、組合の目指すところです。

また、5年くらい前から、国や県の補助を受けて海外展開にも集中的に取り組んで参りました。欧州の富裕



〔川連塗りフェアの様子〕

②ここ2年ほど、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、産地の一大イベントである「川連塗りフェア」が開催できませんでした。令和4年度は「川連塗りフェア」を盛大に開催するとともに、海外展開の取り組みも強化していきたいと考えております。

川連漆器は、木地をはじめほとんどが自然にある材料から作られます。修繕が可能で、世代を継いで長く愛用されることも多く、漆器を使うことは、SDGs(持続可能な開発目標)の考え方そのもので、環境に優しいこともPRしてまいります。

秋田県 建築設計事業 協同組合 設立から60年



石田起徳理事長

①秋田県建築設計事業協同組合は、建築設計監理業を営む事業者により昭和37(1962)年に設立されました。国や県、市等から発注される公共物件の設計監理業務を組合で共同受注しており、多くの実績を有しています。

新型コロナウイルスの発生当初は、工事の長期化等により大きな影響を受けましたが、最近は落ちついてきました。

②公共物件が減少傾向にあるため、近年は民間の大型物件の受注にも取り組み始めています。昨年は民間大型物件を1件受注できたので、今年は組合員同士で力を合わせて更なる受注獲得につなげていきたいと考えています。



〔受注した大館市役所の外観図〕

また、デジタル化による技術革新が当業界でもどんどん進んでいますので、これらに対応できるように組合でも進化していきたいと思っております。

令和3(2021)年は、前年に引き続き新型コロナウイルスの影響が長引いた一年でありました。そこで、新年が良い年となるように願いを込め、令和4(2022)年の目標や抱負について、寅年に設立された組合の理事長に伺いました。

秋田県木材 産業協同組合 連合会 設立から48年



大坂真一理事長

①秋田県木材産業協同組合連合会は、全県における木材産業の近代化・合理化を図り、会員となる単協の組合活動を活発にし、充実させるために昭和49(1974)年に設立されました。

最近では、中央会の補助事業を活用して販路開拓のための懇談会を開催した上で、県産木材の輸出拡大に取り組んでいます。

木材業界では昨年、ウッドショックにより木材価格が上昇し、これまで安い価格で取引されていた国産木材の価値が見直される契機となりました。

②今年も、木材業者の生き残りをかけた厳しい年になると予想しています。木材の価値を上げるために努力するとともに、素材だけではなく、加工度を高めた製品の輸出拡大を目指します。

また、大型製材工場の能代市への進出が決まっていることから、当連合会として、会員や組合員同士の結束を強めるとともに、共存共栄を図っていきたくと思っています。

今や、林業・木材産業は成長産業となっていますが、森林資源が日本一の本県では、伐採する人手が足りない他、次の世代に向けた再造林の課題があります。

当連合会では、同業者同士で競争するのではなく、共同事業を通じて、相互扶助の精神の下、会員組合や組合員企業で助け合ってまいります。



[県外市場での県産材展示会の様子]

秋田県 保険代理業 協同組合 設立から24年



工藤和夫理事長

①秋田県保険代理業協同組合は、保険サービスの自由化に伴い経営が圧迫されていた中小零細代理業者の生き残りを図り、共同事業の実施による経営効率化や体質改善を目的として、平成10(1998)年に設立されました。平成25(2013)年には保険契約の共同受注事業を開始し、県内高校生を対象とした「高校生総合補償制度」の他、県職員や教職員向けに割安な団体扱い保険を提供しています。

コロナ禍により保険の勧誘方法が変わってきている中で、中長期的な視点で他の代理店と差別化を図っていくため、人材育成に最も力を入れており、プロフェッショナル志向塾と名付けた教育研修事業を実施しています。

②今年も、中央会の補助事業を活用した研修会を開催し、非対面・非接触型の営業スキルの向上を図ることとしており、それに向けて組合員にアンケートを実施し、経営課題の洗い出しを行っています。

また、昨年8月に施行された秋田県自転車条例により、今年4月から自転車損害賠償責任保険等への加入が義務化されることから、関連商品の販売を強化していくほか、本県に特化したシニア向け保険商品を売り出していくこととしています。

保険代理業界には、客観的評価基準がないため、業界での勝ち残りや差別化を図るためには、顧客本位の視点に立つことが重要であると考えています。

顧客だけでなく、保険会社からも信頼される代理店を目指して、組合事業に取り組んでまいります。



[シニア向け保険商品チラシ見本]

県に5分野12項目を要望 佐竹知事との懇談会



12月6日(月)、秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて、佐竹秋田県知事と本会役員による懇談会を開催しました。

冒頭、藤澤会長から佐竹知事に懇談テーマをまとめた要望書が手渡されました。

開催にあたり、藤澤会長は「県内の多くの企業では依然として先行きが見えない状況が続いており、収入の確保や雇用の維持に大きな不安を抱えているが、県においては雇用維持支援金の給付やコロナ対策としての経営安定資金制度、商店街や飲食店等をはじめ各業界の支援策を講じていただき、改めて感謝申し上げます。本会では、組合等を通じて県内企業の振興・発展につながるよう取り組んでいるところであり、今後とも本会の活動に対してご理解とご支援をお願いしたい。」と挨拶しました。



【挨拶する佐竹知事】

一方、佐竹知事は「本県は再生可能エネルギーや木材、食料などの資源に恵まれており、地元がその経済効果の恩恵を受けるには、中小企業の連携の他、共同事業の実施により組合の強みを発揮することが必要である。秋田に合った予算を組み、様々な面で皆様と協力しながらこの難局を乗り越えていきたい。」と挨拶しました。

懇談会では、藤澤会長をはじめ、役員より下記の5分野12項目についての要望を行いました。



【要望書を手渡す藤澤会長(左)】

1. インフラ整備

- (1) 県内高速道路の早期完成と主要幹線道路等の整備について
- (2) 奥羽・羽越両新幹線の実現に向けた整備促進及び秋田新幹線トンネル整備(赤沢～田沢湖間)の早期実現について

2. 中小企業組合・中央会等に対する支援の拡充

- (1) 中小企業連携の専門的支援機関である中央会に対する商工団体組織活動強化費補助金の確保及び強化について

3. 「中小企業振興条例」に基づく産業支援

- (1) 新型コロナウイルスによる倒産・廃業防止に関する中小企業支援施策の継続推進と県内産業の持続的発展に必要な支援の拡充について
- (2) 新型コロナウイルス対策等中小企業支援施策に関する年度を跨いだ実施について
- (3) 中小企業が連携して実施する展示会等への共同出展及び共同販売に関する事業への支援について
- (4) 人材確保を目的とした業界PR活動等の実施に対する支援について
- (5) 地場企業に対する支援強化について

4. 官公需関連

- (1) 公共工事の早期発注とゼロ県債の拡大等による一層効果的な発注平準化施策の推進について
- (2) 地元中小企業・小規模事業者の受注機会拡大の措置と市町村への働きかけについて

5. 外国人材の活用等について

- (1) 外国人労働者の特定技能在留資格に関する産業分野の拡大の国等への働きかけ及び外国人材の活用に関するサポート支援強化について
- (2) 外国人技能実習生の資格試験における会場確保等について



〔受賞したシャンパンクーラー〕



〔曲げわっぱを製作している柴田社長〕

シャンパンクーラーで全国最高賞

有限会社柴田慶信商店（大館曲げわっぱ協同組合）

企業紹介と事業の背景

有限会社柴田慶信商店（大館曲げわっぱ協同組合）は、昭和41（1966）年に個人商店として創業し、平成元（1989）年に有限会社となりました。

平成21（2009）年には、東京に進出し、日本橋三越本店に常設コーナーを設けた他、翌年には浅草店をオープンしました。

平成30（2018）年には、大館市御成町の商業施設わっぱビルディング内に柴田慶信商店わっぱビルディング店を構え、製品の販売と合わせて、日本各地、世界各国から収集した曲げ物の展示の他、曲げわっぱの製作体験スペースを設置しました。

これらの店舗の他、ウェブサイトでの販売も行っており、さらなる販路拡大を目指して、様々な商品を考案しています。

取組内容

そのような中、曲げわっぱ職人として伝統工芸士の資格を持つ同社の柴田昌正社長（大館曲げわっぱ協同組合理事長）が製作した天然秋田杉シャンパンクーラーが本年度の「第46回全国伝

統的工芸品公募展」で最高賞を受賞しました。

公募展には、全国から帯や茶器セットなどさまざまな作品計254点の応募があり、11月24日に行われた審査の結果、柴田社長が入賞15点の中から1点だけが選ばれる最高賞の内閣総理大臣賞を受賞しました。

このシャンパンクーラーは樹齢200年以上の天然秋田杉を使った作品で、直径30センチの大、24センチの中、18センチの小の3サイズがあり、高さはいずれも22センチとなっています。

この商品には、構想から製作、商品化に至るまで約1年半を費やしており、ワインクーラーではなく、あえてシャンパンクーラーとしたのは、ウェルカムドリンクとしてシャンパンを冷やすことを想定して製作したことが理由です。

もちろん、シャンパンやワインを冷やす用途だけでなく、野菜や果物を冷やすことにも使うことができ、主に少人数のパーティーを想定しています。

期待される効果と今後の事業展開

柴田社長は「この受賞をきっかけに若い人に曲げわっぱ作りに興味を持ってもらい、若い従事者をもっと増やし

ていきたい。そのためにも使い手と作り手をつなぐ取り組みをしていきたい。」と述べています。

当社の他、大館曲げわっぱ協同組合に加入している組合員企業とともに、ホームページを一新しており、文章の英語訳を掲載したほか、商品の活用方法をブログで提案しています。

今後、当社では、コロナ禍で売上が落ち込んだ経験を活かし、今までの販売方法に限らず、インターネットでの通信販売にも力を入れていくこととしています。



【有限会社柴田慶信商店】

- ▶所在地／大館市御成町二丁目
15番28号
- ▶代表者／柴田 昌正（伝統工芸士）
- ▶業 種／木製品製造業
- ▶従業員数／22名
- ▶所属組合／大館曲げわっぱ協同組合

新年のご挨拶を申し上げます

大地に夢を見る 人々のために



秋田県農業機械商業協同組合

理事長 白石 光弘
副理事長 打矢 正敏
専務理事 中安 則光

〒010-0951 秋田市山王三丁目1番22号
TEL:018(862)4972 FAX:018(862)4997

ものづくりのご相談なら

秋田市工業団地協同組合

理事長 伊藤 和宏
副理事長 藤澤 正義
専務理事 深川 雅通
理事 志渡 輝夫
" 柿崎 昭雄
" 菊地 直也

〒010-0941 秋田市川尻町字大川反170-44
TEL.018-823-3917/FAX.018-862-9948

電気のある暮らし安全・安心を守ります。



秋田県電気工事工業組合

理事長 千葉 三四郎



秋田電気安全サービス

【本部】秋田市泉南1丁目1番18号
TEL.018-824-1587
【本荘支所】由利本荘市石脇字田尻野35-75
TEL.0184-22-8555
【能代支所】能代市字西大瀬23-20
TEL.0185-52-5202

自動車の钣金・塗装・整備は

秋田県自動車車体整備協同組合

理事長 山王丸 洋一
副理事長 日諸 光悦
副理事長 伊藤 朗
副理事長 沖田 勇
専務理事 本間 昭彦

秋田市八橋大畑2-12-55 TEL018-862-2079
<http://www.akishakyo.or.jp>

秋田県自動車整備商工組合

理事長 三浦 廣巳
副理事長 畠山 信悦
" 齋藤 幸悦
" 高橋 富男
" 石黒 壽佐夫
専務理事 佐々木 義弘
常務理事 田中 寿

〒010-0962 秋田市八橋大畑二丁目12番63号
TEL 018-823-6546 FAX 018-863-4603

秋田県骨材工業組合

理事長 三浦 尚
副理事長 岡部 秋男
副理事長 小林 正信
副理事長 加賀谷 正子
専務理事 竹田 恵

〒010-0941 秋田市川尻町字中島212番地の1
☎018-862-8535 FAX 018-863-4564

官公需適格組合
【カデル】

秋田管工事業協同組合



理事長 太田 博之
秋田市山王臨海町3番18号
☎018(862)6161/FAX 018(824)5685

認可番号 仙財金 第731号

秋田県保険代理業協同組合

理事長 工藤 和夫

《独立開業を応援します》



しゅう でん きょう
秋電(協)

理事長 山上 憲人 電気管理技術者 受付中
TEL 018-863-1833 e-mail/akiden01@poplar.ocn.ne.jp

秋田県室内装飾事業協同組合

理事長 野口 久栄

〒010-0001 秋田市中通六丁目4番29号
電話 018-831-1276 FAX 018-838-1167

新年のご挨拶を申し上げます



秋田県トラック運送事業協同組合
秋田県物流センター協同組合

◆秋田県トラック運送事業協同組合

理事長 齊藤 正敏 (株)八幡平貨物
専務理事 梅村 春男 米代トラック(株)
理事 藤原 菅也 秋田港北トラック(株)
" 西宮 公平 秋田海陸運送(株)
監事 三浦 昌貴 税理士法人 RINGS

◆秋田県物流センター協同組合

理事長 齊藤 正敏 (株)八幡平貨物
副理事長 佐藤 利雄 (株)丸五急送
" 小林 誠 第一道路運送(有)
専務理事 梅村 春男 米代トラック(株)
理事 藤原 菅也 秋田港北トラック(株)
" 西宮 公平 秋田海陸運送(株)
" 畠山 亨 (株)八森運輸
" 加藤 幹雄 (有)アスカ物流
監事 伊藤 宏基 アイビーデリバリー(株)
" 嵯峨 誠子 (株)太平洋送運輸

経営理念 **“協同”**

〒010-0061 秋田市卸町 1-3-2 TEL.018-823-8192 (代) FAX.018-863-1879

ホームページ <http://www9.plala.or.jp/buturyuukyuu/>

いいね! 秋田の商い

**あぎ
いね**
卸町
AKITA

秋田卸団地の愛称は

『あぎいいね卸町』



協同組合 **秋田卸センター** 理事長 辻 昭久

〒010-0061 秋田市卸町三丁目6番3号
TEL 018-863-1902 FAX 018-862-5398 <http://www.akitaoroshi.jp/>

地域と共に



秋田県遊技業協同組合

秋田中央遊技業協同組合

理事長 新井 弘 泰

秋田市手形字西谷地175の2 (遊技会館)

☎・FAX 018 (832) 9825



フライアッシュ混合コンクリート (JIS規格品)
フライアッシュ混合コンクリートについては
環境ラベルを表示しております

官公需適格組合

能代山本生コンクリート協同組合

代表理事 佐々木 憲昭

〒016-0115 秋田県能代市字悪戸 115-9
TEL (0185) 58-3560 / FAX (0185) 58-3525

秋北生コンクリート株式会社 秋田県能代市字下悪戸83-2 TEL (0185) 58-2503
中友商事株式会社 秋田県能代市河川字下西山41 TEL (0185) 54-2241
能代中央生コン株式会社 秋田県山本郡八幡町降浜沼田字上釜谷1-13 TEL (0185) 76-3388



株式会社 秋田魁新報社

代表取締役社長 佐川 博之

秋田市山王臨海町 1-1
☎018-888-1800 (代表)

新年のご挨拶を申し上げます

『新しい時代に向かって』

見えないけれど支えている
高度な鐵構技術で建設業界の未来に貢献する
それが“CHIYODA VISION”(チヨダ ヴィジョン)です

千代田興業株式会社

本社・工場：秋田市川尻町字大川反170-49 TEL 018(864)6200(代)
建設事業部：秋田市川尻町字大川反170-19 TEL 018(888)3666 URL : <http://www.k-chiyoda.jp>



謹賀新年

株式会社 八幡平貨物

秋田県鹿角市八幡平字谷内下モ平116-12 TEL 0186-34-2011 FAX 0186-34-2013



お米のオリジナルランチ&米粉スイーツ

〒010-0012
秋田市南通
みその町4-57



カフェ「アールテーブル」
TEL.018-853-7737
営業時間 / 11:00~18:00
定休日 / 水曜
駐車場 / 10台
<https://rtable.fun/>
f @rtable.1022

For Earth, For Life
Kubota

農業機械のことなら
秋田クボタにおまかせ下さい。



Sluggo

NAVIWEL

株式会社 秋田クボタ

代表取締役社長 白石 光弘

秋田市寺内字神屋敷295番地38 ☎018-845-2121



人を思う。未来を思う。

商工中金

秋田支店 支店長 清水 剛

〒010-0001 秋田市中通二丁目4番19号
TEL:018-833-8531(代表)

富士フイルム BI 秋田株式会社

FUJIFILM

代表取締役会長 辻 良之

富士フイルム BI
特約店

代表取締役社長 吉田 進

秋田市川尻町字大川反170-92 TEL : 018-823-4645

新年のご挨拶を申し上げます

地域共栄

 **秋田銀行**

取締役頭取 **新谷明弘**

秋田市山王三丁目2番1号
TEL018-863-1212(代表)

 **北都銀行**

代表取締役頭取 **伊藤 新**

本店/秋田市中通三丁目1番41号
電話/018-833-4211(代表)



世界にひとつ。あなたにひとつ。

株式会社 秋田ジェシービーカード

代表取締役 **工藤孝徳**

〒010-0921秋田市大町2丁目4-44
TEL 018(865)0231 (代表)

頑張る中小企業を
『信用保証』で応援します

 **秋田県信用保証協会**

会長 **堀井 啓一**

本所 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号
(秋田県商工会館内)
TEL018(863)9011 FAX018(863)9188

株式会社あきぎんリサーチ&コンサルティング

秋田銀行グループ

ARC
Akigin Research & Consulting

代表取締役社長 **石川 聡**

秋田市山王三丁目2番1号(秋田銀行本店5階) TEL 018-863-1221

高橋めぐみ社会保険労務士事務所

社会保険労務士 **高橋めぐみ**

〒010-1612 秋田県秋田市新屋豊町10番32-2号
TEL 018-863-3467 FAX 018-811-2540

 **秋田県中小企業組合士会**

会長 **堀川 深雪**

～組合の明日を拓く組合士～

秋田県アパレル産業振興協議会

会長 **佐賀 善美**

副会長 **村田 孝治**

副会長 **竹村 周夫**

幹事長 **高橋康一郎**

事務局 〒010-0923
秋田市旭北錦町1番47号(秋田県中小企業団体中央会内)
TEL:018-863-8701 FAX:018-865-1009

**秋田県外国人技能実習生
受入組合連絡協議会**

会長 **村田 孝治**

顧問 **佐賀 善美**

事務局 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号(秋田県中小企業団体中央会内)
TEL 018-863-8701/FAX 018-865-1009

新年のご挨拶を申し上げます



東京海上日動って どんな会社ですか？

世の中にはリスクがたくさんあって、新しいリスクも生まれているそう。でも、リスクを気にしていたら、挑戦できなくなってしまう。その不安を安心に変えていくのが東京海上日動の損害保険なんだって。AIなどのデジタル技術を事故の解決に活用したり、世の中の変化に対応した保険をつくっているみたい。ちょっと、わかってきた気がします。



東京海上日動

To Be a Good Company

損保ジャパン
SOMPO Innovation for Wellbeing

保険の先へ、挑む。

損害保険ジャパン株式会社
秋田支店
〒010-0921 秋田県秋田市大町 3-3-15
Tel:018-862-8421 <https://www.sompo-japan.co.jp/>

立ちどまらない保険。

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上の安心 **GK**

クルマの保険 住まいの保険 火災の保険

www.ms-ins.com

あいおいニッセイ同和損保

MS&AD INSURANCE GROUP

秋田支店
〒010-0951 秋田市山王2丁目1-43
TEL：018-896-1685

ETC高速割引制度事業をご利用下さい！

秋田市旭北錦町一番四十七号
秋田県商工会館5F
(秋田県中小企業団体中央会内)
☎018(八六三)八七〇五

| | | | |
|------|------|------|------|
| 理事 | 専務理事 | 副理事長 | 理事長 |
| 進藤政弘 | 佐藤満 | 伊藤和宏 | 藤澤正義 |
| 監事 | 〃 | 〃 | 〃 |
| 工藤和夫 | 大門一平 | 〃 | 〃 |
| 辻昭久 | 〃 | 〃 | 〃 |

**秋田県商工振興
協同組合**

景況DI値は回復傾向へ転換。燃料高騰・資材不足の懸念は残るがコロナ感染の減少に経済回復の期待。



概況(全体)

11月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが5.1%(前回調査5.0%)、「悪化」が47.5%(同51.7%)で、業界全体のDI値は-42.4となり、前月調査と比較し4.3ポイント回復した。

全国及び東北・北海道ブロックは新型コロナウイルス感染症の沈静化により、経済活動への影響は売上高を中心に改善傾向にある。しかし、原材料の高騰や部品不足、そして新たな変異株の感染拡大等、多くの事業者は今後の景況感に慎重な見方をしている。

業界別の状況

製造業は、業況が「好転」したと回答する数が不変で、「悪化」したと回答する数が微減した。

また、非製造業においては、「好転」及び「悪化」したと回答する数が減少し、「不変」と回答する数が増加した。

業界全体のDI値は回復傾向に推移している。燃料及び原材料の高騰、資材不足の問題が継続している中、前年同月比で「悪化」したとする企業が減少していることから、ウィズコロナの社会仕様に順応した企業が増えていることが考えられる。

全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較

| | 秋田県 | 全国 | 東北・北海道 |
|------|-------|-------|--------|
| 全体 | -42.4 | -22.3 | -24.4 |
| 製造業 | -34.8 | -17.8 | -14.9 |
| 非製造業 | -47.2 | -25.8 | -29.6 |

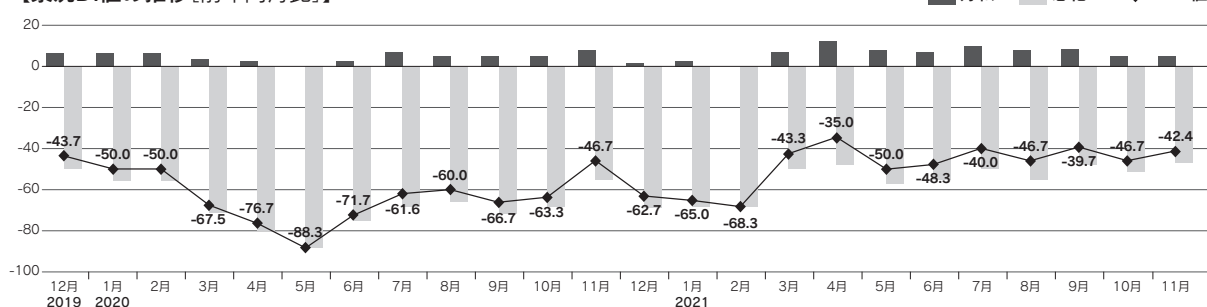
景況天気図

| 項目 | 業界の景況 | 売上高 | 収益状況 | 販売価格 | 取引条件 | 資金繰り | 雇用人員 |
|------|-------|-----|------|------|------|------|------|
| 製造業 | ☁☁☁ | ☂ | ☁☁☁ | ☁ | ☂ | ☁☁☁ | ☁☁☁ |
| 非製造業 | ☁☁☁ | ☂ | ☁☁☁ | ☁ | ☂ | ☂ | ☂ |

【凡例】
 ☁☁☁ 雷雨 -30以下
 ☂ 雨 -30超 -10未満
 ☁☁☁ 曇り -10以上 10未満
 ☀ 晴れ 10以上 30未満
 ☀☀☀ 快晴 30以上
 【天気図の見方】
 前年同月比のDI値をもとに作成しています。

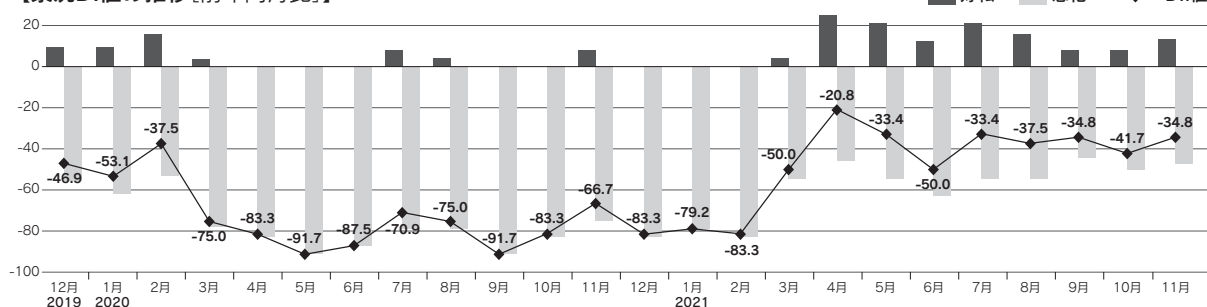
業界全体

【景況DI値の推移[前年同月比]】



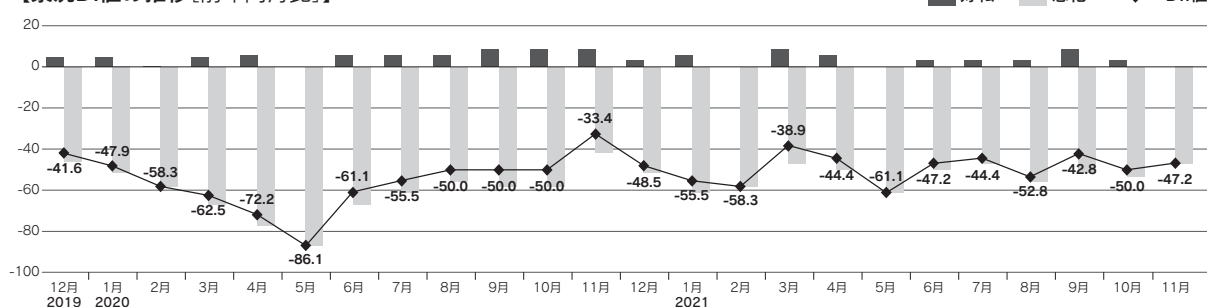
製造業

【景況DI値の推移[前年同月比]】



非製造業

【景況DI値の推移[前年同月比]】



●製造業

(回答数:23名 回答率:95%)

【食料品 (パン)】

売上に関しては前年以下となった。10月に一部商品を値上げしたことがその原因の一つである。原材料の値上がりのため、1月からは本格的な値上げを予定していることから、更に売上が厳しくなるものと予想される。

【食料品 (精穀・製粉)】

11月後半に入り若干売上は回復したが、前半が低調であったため、全体では前年対比マイナスとなった。また、輸入原材料の納期遅延や価格上昇が顕著になってきている。

【繊維工業 (繊維)】

受注状況は若干持ち直しているがコロナ禍前の状況には程遠い。人件費をはじめとした工場運営コストは増加しているが、加工賃は上がり採算確保が困難な状況である。生産力を上げたいが外国人技能実習生の帰国が先行し、新規の実習生が入国できないため、工場の人員が減少し生産力は低下している。

【木材・木製品 (一般製材)】

製品販売量は前年比(4月～11月)139%、製品販売額は前年比(4月～11月)181%と増加している。8月の製品価格の値上げの効果が出ている。外国産材の輸入減少が続いていることから、年内は国産材の需要は堅調と想定している。

【印刷 (印刷)】

緊急事態宣言が解除され消費動向に動きが見え始めたが、まだ厳しい状況は継続している。仕事が少ない状況での安値受注が引き続き発生している。また、1月から各種印刷用紙・材料等の値上げが実施されることから、価格への転嫁を含め、組合員企業の経営は厳しさが増している。

【鉄鋼・金属 (鉄鋼)】

鉄などを含め副資材などの原材料価格が上昇し、原油高騰の影響で梱包資材や運賃まで上昇している。コスト増加分を価格転嫁できる企業は利益を維持しているが、転嫁できていない企業は利益率が下降傾向にある。

【一般機器 (金属加工)】

受注は相応にあるものの、材料(鋼材)の高騰(商品によっては20%の値上げ)により、収益面が悪化している状況にある。

【その他の製造業 (曲げわっぱ)】

WEB等を活用して営業を展開している企業は、売上が改善されている。

●非製造業

(回答数:36名 回答率:100%)

【卸売業 (古紙)】

11月の古紙の回収量は、前年同月比で-10.2%であった。重複回収日が少なかったことも要因であるが、雑誌等が15.4%減少している。日本における昨年のコミック売上は過去最高の6,126億円となったが、その内、紙コミックが44%でその他は電子コミックでの売上である。消費生活でもペーパーレスが浸透してきている。

【小売業 (みやげ品)】

令和元年の11月売上と対比すると令和2年11月はGotoキャンペーンの効果もあり91%であった。今年の11月は緊急事態宣言が解除されたが来客は少なく、令和元年対比で45%、令和2年対比(前年同月比)で49%であった。

【小売業 (石油)】

人件費の増加だけでなく灯油配達の人員不足もあり、冬場における灯油の安定供給が厳しい状況である。なお、企業が職業安定所へ求人を出しても応募がない状況である。

【商店街】

組合加盟飲食店は、コロナウイルス感染拡大の警戒レベル引き下げにより、年末に向けての予約が入り始めている。厳しい状況には変わらないが、各店舗では集客を目指した活動が盛んになっている。組合経営の駐車場も夕方からの利用が微増し、昨年対比で売り上げが多少増加している。他の小売りは、依然として集客も売上も回復しないまま年末を迎え苦戦している。

【サービス業 (旅館)】

例年の11月と比較すると、悪い結果ではなかった。しかし、比較対象となる前年同月はGotoキャンペーンに支えられていたため全体的に数値が高く、結果として今年の11月の実績は低評価となった。また、県民割などは週末に利用の偏りがみられ、平日は苦戦傾向であった。

【サービス業 (自動車整備)】

自動車検査台数実績から見て、全体では前年同月比で4.1%の増加となった。内訳は登録車が2.5%の増加、軽自動車も6.1%の増加となった。

【建設業 (一般建設)】

資材高により想定した原価低減が見込めない状況である。今後の受注は、資材高を織り込んだ交渉と早期資材手当によるリスク回避が求められている。

【運輸業 (トラック)】

11月の輸送状況は、いづらか増加傾向であったものの低調に推移した。売上は、前月比・前年同月比ともに微増となっているものの利益は減少している。燃料価格の高騰を受け、利益は毎月悪化している。12月の燃料価格は、値上がりが落ち着く見込みとなっているが、依然として高値で推移していることから、収益や利益への影響が懸念される。

*DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

中央会事業より

秋田県自動車車体整備協同組合青年部会 会員工場の作業効率の改善を目指す ～青年部研究会事業～

車体整備業界では、自動車保有台数の減少に加え、被害軽微装置を搭載した車両の増加などにより整備工場への入庫台数が年々減少しており、厳しい経営環境に直面しています。

このため、従業員の作業効率向上により人件費の縮減を図るとともに、従業員の意欲や能力を存分に発揮できる環境を作るため、働き方改革に業界全体として取り組む必要があります。

そこで、作業効率の改善に成功した事例を研究するため、秋田県自動車車体整備協同組合青年部会（熊谷寛範会長）を対象に2回にわたり研究会を開催し、埼玉県の株式会社杉戸自動車代表取締役泰楽秀一氏から、修理及び事務部門の作業効率向上に向

けた取組についてオンライン形式でアドバイスを受けました。

泰楽氏は、修理部門では従業員の作業中の滞留時間の改善や作業工程の見える化、定時の作業指示、適材適所への配置、また、事務部門では接客・クレーム対応のルール化や、集客から納車までの各業務の対応内容の共有についてそれぞれ取り組んでいる結果、従業員の作業効率は着実に向上していると話をした上で、「作業効率の改善が利益のアップに繋がると最終的には給与のアップに繋がることについて従業員と十分認識を共有した上で、作業効率の改善に取り組む環境を経営者自らが積極的に作ってほしい。」と述べました。

出席者からは、作業のムダを無くすだけでなく、付加価値の向上にも取り組みたいといった意見も聞かれ、同青年部会では研究会の内容を踏まえ、会員工場の作業効率の改善を推進していくこととしています。



【青年部研究会の様子】

新設組合紹介

米代川流域森林・林業活性化協同組合

— 良質な森林資源の供給を通じて林業・木材産業の活性化を目指す —



金野理事長

【組合紹介・PR】

森林資源が充実している秋田県は、スギ人工林面積が日本一であり、原木供給の潜在能力が極めて高い地域です。特に、米代川流域は県内の素材生産量の約半分を占め、原木を安定供給する重要な地域となっています。

今後、県内では新たな大型製材工場や木質バイオマス発電所の建設、更に他県では新たな合板材工場等の建設が予定されていることから、県外から県内へ流通している原木丸太の供給量が大幅に減少することが見込まれ、県内での需要に対応した供給量を確保する必要に迫られてきています。

そこで、原木を安定供給するための共同事業を実施し、中小零細の素材生産事業者の経営基盤強化と経済的地位の向上を図ることを目的に、米代川流域森林・林業活性化協同組合を設立しました。

本組合では、公共調達に必要となる合法材及び今後需要が高まる原木丸太の安定供給を図るための共同事業を行うことで、米代川流域の森林や林業、木材産業の活性化を図ってまいります。

どうぞ、宜しくお願い申し上げます。

- 所在地
能代市二ツ井町小繫字
家後104番地1
- 代表理事 金野 忠徳
- 出資金 3,900,000円
- 組合員数 39名
- 主たる事業
素材の共同販売、新植・再造林の促進、共同素材流通、教育・情報提供
- 成立年月日
令和3年12月20日

Information

国税庁 改正電子帳簿保存法が施行されます！

令和3年度税制改正により、電子帳簿保存法が改正され、帳簿書類を電子的に保存する際の手続きなどについて見直しが行われました。なお、この法律は令和4年1月1日に施行されます。

電子帳簿保存法は、原則紙での保存が義務付けられている帳簿書類について、電子データで保存をするための要件や、電子データでやり取りした取引情報の保存義務などを定めた法律です。

同法上、電子データによる保存は大きく下の3種類に区分されています。

①電子帳簿・電子書類保存（会計ソフト等で電子的に作成した帳簿や書類をデータのまま保存）

②スキャナ保存（紙で受領・発行した書類を画像データで保存）

③電子取引
（電子メール等で送受信した取引情報をデータで保存）

①と②は法律上任意ですが、「③電子取引」はすべての法人・個人事業者に関わることであり、対応が求められます。

改正により、電子取引では書面による保存が認められなくなり、PDF等の電子データで受け取った請求書等は紙ではなく電子データで保存しなければなりません。

※なお、電子保存の義務化については、2023年12月末まで2年間猶予されることが令和4年度税制改正大綱に盛り込まれました。

電子帳簿保存法については、国税庁ホームページ (<https://www.nta.go.jp/>) に掲載されています。

詳しくはこちら [国税庁 電子帳簿保存法](#) [検索](#)

官公需適格組合

『カデル』

秋田管工事業協同組合

理事長 太田 博之
副理事長 谷藤 健二
" 佐藤 弘康

秋田市山王臨海町3番18号

☎018(862)6161/FAX 018(824)5685

《繊維製品加工販売業》



秋田ファイブワン工業株式会社

取締役会長 佐賀 善美
代表取締役社長 佐賀 善廣

〒010-0975 秋田市八橋字下八橋191-29
TEL 018-862-5141/FAX 018-862-5288
URL <http://www.a-fiveone.co.jp/>

損害保険・生命保険



保険と暮らしの相談センター

株式会社 アキタ保険

AKITA HOKEN



本社
〒010-0951 秋田県秋田市山王6丁目5-9
TEL 018-864-6921 FAX 018-864-6922
URL <https://www.akitahoken.co.jp>

フレسوب本荘店
〒015-0011 秋田県由利本荘市石脇字田頭141-1
TEL 0184-24-5511 FAX 0184-24-5512

県南事業所
〒019-0529 秋田県横手市十文字町海道下88-9
TEL 0182-23-5145 FAX 0182-23-5146

あけましておめでとうございます

おかげさまで 創立75周年

今までも、そしてこれからも「夢人間集団」

未来を描く、夢人間集団

秋田活版印刷株式会社

〒011-0901 秋田県秋田市寺内字三千刈110-1 TEL.018-888-3500(代)
東京営業所 TEL.03-5927-8101 名古屋営業所 TEL.052-251-5080

<https://www.kappan.co.jp/>

For Earth, For Life
Kubota

Hello, my Smile

陽菜 Smile
1107



詳しい製品情報はこちらのQRコードから!

株式会社 秋田クボタ

〒011-0901 秋田市寺内字神屋敷295-38
Tel: 018-845-2121 Fax: 018-845-6600

あけましておめでとうございます

保険とリース、相続・事業承継、新規取次ぎ「フラット35」のご相談はお気軽にどうぞ!!



保険&リース

北日本ベストサポート

【本店営業部】

〒010-0967 秋田県秋田市高陽幸町8番17号
TEL:018-883-1888/FAX:018-883-1822

【県南営業部】

〒014-0047 秋田県大仙市大曲須和町1丁目4番地57号
TEL:0187-66-3622/FAX:0187-88-8133

【能代支店】

〒016-0122 秋田県能代市扇田字東扇田165-2
TEL:0185-58-2116/FAX:0185-58-2663

【酒田支店】

〒999-8438 山形県飽海郡遊佐町比子字白木23-362
TEL:0234-75-3370/FAX:0234-75-3376

[URL] <http://www.knbs.jp>

株式会社

八幡平貨物



一般区域貨物自動車運送
原木・木材の伐出及び仕入・販売

秋田県鹿角市八幡平字谷内下モ平116-12
TEL 0186-34-2011
FAX 0186-34-2013



秋田駅直結のベストロケーション

ご宿泊・ご婚礼・ご宴会・レストラン・バーなど
あらゆるリクエストにお応えいたします。






 HOTEL METROPOLITAN AKITA JR-EAST

〒010-8530 秋田市中通七丁目 2-1
TEL.018-831-2222
<http://www.metro-akita.jp/>

秋田県中小企業団体中央会団体扱 「オーナーズプラン」のご案内


大樹生命

Owner's Plan

-  事業保全資金
-  事業承継・相続
-  就業不能
-  役員の退職慰労金・弔慰金
-  従業員の退職金・弔慰金

限りない繁栄のために…

リスクマネジメントは万全ですか？

※一部対象とならない商品・契約がございますので、
詳細は下記までお問い合わせください。

お取り扱いの詳細は、下記までお問い合わせください。

大樹生命保険株式会社 秋田支社

〒010-0001 秋田県秋田市中通2-3-8
秋田アトリオンビル10F
TEL:018-801-1645
<https://www.taiju-life.co.jp/>

秋田営業部 TEL:018-801-1626

本荘支所 TEL:0184-23-2950

湯沢支所 TEL:0183-72-3230

大館営業部 TEL:0186-49-2459

大曲営業部 TEL:0187-62-1337